

G20 行動計画の更新（ポイント）

（2021 年 4 月）

○国際公共財としての保健

- 我々は、新型コロナウイルスとその変異株への効果的、迅速かつ公平な、グローバルな対応を確保するとのコミットメントを新たにする。
- 我々は、パンデミックの予防、備え、対応のための長期的かつ持続可能な資金調達の解決策に取り組むことにコミットする。
- 我々は、特に世界保健機関（WHO）を含む多国間機関や国際金融機関との、また各機関間の協力や政策の一貫性を強化する必要性を強調する。
- 我々は、強靱な保健システムを構築するため、国際機関、特に WHO や、専門家団体・アライアンスと引き続き協調する。

○回復を支援し、形作る

- 我々は、引き続き、政府及び中央銀行それぞれのマנדートと整合的に、補完的な形で、必要とされる間は、財政政策、金融政策及び規制上の手段を用いて、強固で、持続可能で、均衡のとれた、包摂的な回復を支援するため、あらゆる対応を行うことにコミットする。
- 我々は、パンデミックによる経済的な傷跡を最小化し、雇用創出に焦点を当て、構造的再配分、生産性向上の改革、グリーンでデジタルな回復を支えるものも含む投資を促進することにコミットする。
- 我々は、引き続き、不均衡な影響を受けているグループ（女性、若者、未熟練労働者、非正規労働者を含む）や、パンデミックによって最も深刻な打撃を受けている中小企業を含む生産部門やビジネスカテゴリーを支援することにコミットする。
- 我々は、協力・経験と分析の共有にコミットし、関係国際機関に対して、世界経済の回復を支えながら、危機関連の政策から脱却する適切なタイミング、ペース、方法についての政策助言を提供するよう要請する。
- 我々は、成長及び雇用創出の回復において、開かれた公正な、ルールに基づく貿易の重要な役割を認識する。
- 我々は、引き続き、新型コロナウイルスへの対応に関する金融安定理事会（FSB）の原則に従うことにコミットする。
- 我々は、G20 のグローバルなリスク監視を強化する。

- 我々は、質の高いインフラ投資を促進する取組を強化し、我々の回復戦略のためのインフラ金融における民間資金動員の取組を加速するという我々のコミットメントを再確認する。
- 我々は、より包摂的な金融システムを促進することにコミットする。

○脆弱国を支援する

- 我々は、脆弱な国々が新型コロナウイルスのパンデミックに伴う課題に対処するにあたり、これらの国々への支援をさらに強化する。
- 我々は、引き続き債務脆弱性に対処する。
- 我々は、国際通貨基金（IMF）、世界銀行、地域開発銀行が、危機の変化する段階に応じ支援を継続的に調整してくことを支持する。
- 我々は、国際開発金融機関（MDBs）が、パンデミックへの対応として、2020年4月から2021年半ばまでに、新興国及び低所得国向けに2,300億ドルのコミットメントを行ったことを歓迎するとともに、引き続き債務支払猶予イニシアティブ（DSSI）適格国にネットでプラスの資金フローを供与することを奨励する。
- 我々は、全ての関係する国際機関が、多国間、地域レベル、国レベルで、政策及び業務の協調を一層強化することを改めて支持する。
- 我々はまた、金融の強靭性を引き続き強化する。
- 我々は、グローバル金融セーフティ・ネットの中心にあり、強固で、クォータを基礎とし、かつ、十分な資金基盤を有するIMFへのコミットメントを再確認する。
- 我々は、民間セクターの債権者を巻き込んだ国家債務再編のアーキテクチャを改善する方策を、さらに検討する。

○地球を守る

- 我々は、回復の戦略を、よりグリーンで包摂的な社会への移行を促進する方向とすることにコミットする。
- 我々は、よりグリーンな経済への公正な移行の促進における、サステナブルファイナンスの役割を認識する。
- 我々は、国際金融機関がグリーンへの移行支援を強化することを奨励する。